

株主の皆様へ

第73期中間事業のご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで



福留八ム株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ	1
当中間期の概況	2
セグメント別の概況	3
セグメント別売上高	3
通期の見通し	4
中間連結財務諸表	5
会社概況	8
株式概況	9



代表取締役社長 福原治彦

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。平素は格別のご支援を賜わり厚く御礼申しあげます。

ここに第73期中間事業のご報告をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜わりますようお願い申しあげます。

2023年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に引き下げられたことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、長期化する地政学的リスクによるエネルギー価格や原材料価格の高止まり、さらには世界的な金融引き締めによるインフレが継続するなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストの上昇が企業収益を圧迫しており、さらなる物価上昇懸念等の影響による先行きへの不安から消費者の低価格・節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や人手不足等による労働コストの上昇などの影響により、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益体質改善を最優先課題と位置づけ、「商品の競争力強化」、「営業力強化による販路拡大」、「業務の見直しによる収益構造改革」の三点に取り組み、これら重点施策の展開を実行してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、126億73百万円(前年同期は121億13百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は1億99百万円(前年同期は営業損失1億79百万円)、経常損失は1億76百万円(前年同期は経常損失1億57百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は、有価証券売却による特別利益を5億35百万円計上したことにより、2億90百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億70百万円)となりました。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、人流の拡大やインバウンド消費が活発化するなど、市場が回復したことにより、業務筋や外食関連においてウイナー群の大袋商品が堅調に推移いたしました。また、価格改定に伴う販売価格の上昇もあり、売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は55億79百万円（前年同期は52億36百万円）となりました。

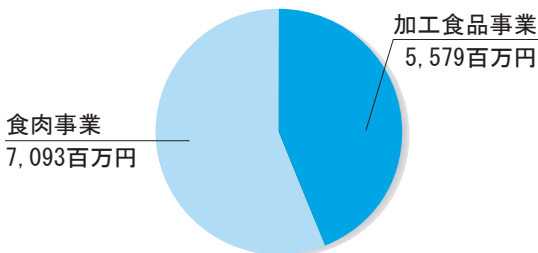
●食肉事業

食肉事業につきましては、物価高に起因した消費者の生活防衛意識は継続して高く、国産牛肉は和牛等の高価格帯の販売が低調に推移いたしました。また、輸入牛肉におきましても円安による仕入コストの上昇により販促機会が減少し、今夏の猛暑の影響もあり取扱量が減り、牛肉全体の売上高は減少いたしました。豚肉におきましては、国産ブランド豚の販売強化による取扱量の拡大に取り組んだことや、輸入豚肉における外食・中食等の業務筋に向けての冷凍商材の販売強化と販路の拡大に注力し、豚肉全体の売上は増加し、食肉事業全体の売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は70億93百万円（前年同期は68億77百万円）となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比
加 工 食 品 事 業	5,579 百万円	44.0 %
食 肉 事 業	7,093 百万円	56.0 %
合 計	12,673 百万円	100.0 %



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に引き下げられたことにより、社会経済活動の正常化が進み、コロナ禍以前の状況に持ち直しつつある一方で、地政学的リスクによるエネルギー価格や原材料価格の高騰など、経営環境は大変厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益改善改善を最優先課題として、「商品の競争力強化」、「営業力強化による販路拡大」、「業務の見直しによる収益構造改革」に取り組み、付加価値を高め消費者から選ばれ続ける商品造り、商談力強化と営業活動効率化による販売拡大、原材料の安定調達と仕入の見直しによる原価低減や業務のシステム化推進による全体経費の削減を実行し、販売力強化、収益力強化を図ってまいります。

また、下期における収益の重要ポイントとして位置づけているお歳暮商戦につきましても「ロマンティック街道」シリーズなどの主力商品の販売に注力するとともに、生産性向上によるコスト削減を図り、収益性のさらなる向上に努めてまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は255億円（前期は248億円）、営業損失は3億20百万円（前期は営業損失3億65百万円）、経常損失は2億80百万円（前期は経常損失3億36百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億80百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失11億94百万円）を予定しております。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2023年9月30日現在	2022年9月30日現在	2023年3月31日現在
資産の部			
	単位：百万円		
流動資産	6,896	5,691	6,147
固定資産	7,241	8,383	7,559
有形固定資産	5,263	6,111	5,258
無形固定資産	91	112	99
投資その他の資産	1,885	2,159	2,201
資産合計	14,137	14,075	13,706
負債の部			
流動負債	7,867	7,077	7,387
固定負債	3,884	3,781	4,092
負債合計	11,751	10,859	11,479
純資産の部			
株主資本	1,953	2,686	1,662
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	△2,161	△1,427	△2,451
自己株式	△81	△80	△81
その他の包括利益累計額	431	528	563
その他有価証券評価差額金	420	527	555
退職給付に係る調整累計額	11	1	8
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	2,385	3,216	2,227
負債・純資産合計	14,137	14,075	13,706

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

● 中間連結損益計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2023年4月1日から 2023年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
単位：百万円			
売上高	12,673	12,113	24,895
売上原価	10,714	10,161	20,993
売上総利益	1,959	1,952	3,902
販売費及び一般管理費	2,158	2,131	4,267
営業損失	199	179	365
営業外収益	73	71	127
営業外費用	50	49	98
経常損失	176	157	336
特別利益	535	-	-
特別損失	-	-	830
税金等調整前中間(当期)純利益又は 税金等調整前中間(当期)純損失(△)	359	△157	△1,167
法人税、住民税及び 事業税	69	12	26
中間(当期)純利益又は中間(当期)損失(△)	290	△170	△1,194
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益又は 非支配株主に帰属する中間(当期)純損失(△)	0	0	△0
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する中間(当期)損失(△)	290	△170	△1,194

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2023年4月1日から 2023年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
	単位：百万円		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△237	△160	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	503	△180	△278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141	△156	292
現金及び現金同等物の増減額	124	△497	△35
現金及び現金同等物の期首残高	2,149	2,184	2,184
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,274	1,686	2,149

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

● 会社概要

(2023年9月30日現在)

設立	1958年3月22日
資本金	26億9,137万円
従業員数	連結367名
本社	広島市西区草津港二丁目6番75号
支店	広島・山口・岡山・松山 高松・北九州・福岡・佐賀 大分・熊本
営業所	呉・松江・徳島・長崎 熊本南・鹿児島・宮崎
流通営業部	中四国・九州・関西・関東
工場	広島・熊本・岡山
直販店舗	外食：(焼肉一番団楽) 草津南駅前店・LECT店 精肉：到津店・砂津店・太宰府店

● 役員

(2023年9月30日現在)

代表取締役会長	中島修治
代表取締役社長	福原治彦
取締役副社長	目貫啓治
常務取締役	砂田誠
取締役	吉田裕二
取締役(常勤監査等委員)	明石嘉典
社外取締役(監査等委員)	池村和朗
社外取締役(監査等委員)	近藤敏博

株式概況（2023年9月30日現在）

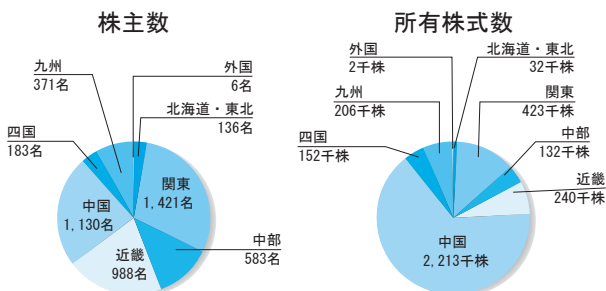
●株式の状況

- ① 発行済株式の総数 3,336,868株
 （自己株式 63,132株を除く。）
- ② 株主数 4,818名

●大株主

株主名	大株主の当社への 出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社福留興産	750	22.50
福栄会	333	9.98
福原康彦	125	3.76
福原美紀子	90	2.72
中島章	77	2.31
新田恵美子	76	2.28
中島修治	75	2.26
株式会社フジ	63	1.89
福原治彦	62	1.88
株式会社もみじ銀行	62	1.87
株式会社広島銀行	48	1.45

●地域別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中に開催
基準日 定時株主総会については毎年3月31日
その他必要あるときは、公告して定めた日
剰余金配当株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告
(アドレス <https://www.fukutome.com>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
貸借対照表及び損益計算書については、**EDINET**に掲載いたしております。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号
日本証券代行株式会社 福岡支店

郵便物送付先 〒168-8620

お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
(各種届出用紙のご請求・その他のご照会) ☎0120-707-843

上場取引所 東京証券取引所スタンダード市場
証券コード (2291)

単元株式数 100株